

のグループの演技が終わった瞬間に心臓がバクバクして、頭の中は真っ白でした。でも観客の皆さんが大きな歓声でむかえてくれたので緊張がとけました。練習でうまくできなかったのもきれいに決まってくれました。

自分達の演技が終わってからは、他の出場者や観客の人達とハイタッチをしたり、写真をとったりして、交流を深めることができとても楽しかったです。

また、ホームステイでは、ホストファミリーがとても温かく接してくれて、楽しい時間を過ごすことができました。

剣道以外でもドイツの色んな場所を見学し日本とは違う文化を体験できました。

ドイツに出発する前は不安でいっぱいでしたが、このドイツ遠征に参加して本当によかったです。貴重な体験ができました。

今回のドイツ遠征で学んだ色々な事をこれからの生活の中で活かして行きたいと思っています。

小学五年 安井 隆之

ぼくは、小さいころからずっと海外へ行きたいと思

っていたので、参加が決まった時からずっとわくわくして今回のホームステイをむかえました。いっぱいドイツの方と会話しただけで、あいさつや自己紹介をドイツ語で覚えたり、日本にしかないおみやげをたくさん用意したり、もちろんメインイベントである剣道のパフォーマンスのため剣道もいっぱい練習して行きました。

実際にビュアシユタツト市にホームステイをしてみたくさんのことを感じてきました。

まず、夏なのに涼しくてとても街なみもきれいで、住みやすい所でした。

そして、何よりもホストファミリーのシユミットさんは、本当にやさしくほく

たちを大切にしてくれました。夜は毎ばんバーベキューをしてくれたり、自由の日には、べっそうや湖にも連れて行っていただいたり、ゆめのような毎日でした。

体操祭では、約千人の方が見ている中で演技でした。十一カ国という多くの国からの人が集まり、しかもあんなに大きな会場で剣道するのは初めてだったのでずっときんちようしていました。転んでしまった

けれど、大きな声を出してガチで試合もできて、自分なりに最後まで集中してできました。

本当に本当に心に残っている思い出となりました。

他にもドイツの飲みものがほとんど炭さん入りだったこと、ドイツの公しゅうトイレが有料だったこと、などびつくりすることばかりでした。

ぼくが、こんなにすばらしい体験をして来られたのは、小河先生、横田先生をはじめとする先生方、教育委員会の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。そして一緒に行ってくれた仲間たちもありがとうございます。いつかお世話になった方々に恩返ししたいと思います。



体操祭での剣道の演技



体操祭閉会式

小学四年 黒澤 諭市

ぼくが、ドイツに行けたのは、お兄ちゃんがいたからです。

ぼくの目的は、大きな声で剣道をドイツのみなさまに見てもらおうことです。

世界体操祭では、ぼくがそうぞうしていたより、たくさんの人たちが見に来てくれて、うれしかったです。えんぶの順番がきたときは、すぐきんちようしました。でも、力をだしきって、えんぶができたので、うれしかったです。

ベント博物館では、見たこともないのりものがたくさんあって、昔の人は頭がいいと思いました。

ライン川クルーズでは、船に乗ってごはんを食べました。ドイツ風のトンカツ

はおいしかったです。ハイデルベルグじょうでは、たくさんのおしろがあり、昔の王様の話が一番おもしろかったです。

ぼくは、シユミットさんにホームステイをさせてもらいました。シユミットさんはとてもやさしくて、アイスをもらったり、やきそばをもらったりして、しかも、いつもバーベキューをさせてもらいました。うれしかったです。

あと、クンプ先生の道場に出げいこをさせてもらいました。クンプ先生はとても強かったです。

ドイツは、とても大きな国で、また、みんながドイツに行き、シユミットさんちに行きたいです。



ホストファミリーの皆さんと